

定年延長前進あるのみ!

全港湾第39回中央委員会



1月22日、23日の両日、豊橋市にあるシーパレスにおいて、全港湾の第39回中央委員会を開催した。すでに機関紙「港湾労働」でお伝えした通り、18春闘は要求額2万円と定年延長を2本柱とする統一要求を軸としてたたかっていくことを決定した。定年延長獲得の狙いは、公的年金(厚生年金)の支給開始日が段階的に65歳まで遅らされることを受け、退職後に1円も公的年金を受け取ることができない空白の無年金期間をつくらせないためであった。しかし、労働組合要求として定年延長を打ち出してから既に数年が経過しており、この間、残念ながら、年齢によっては公的年金が1円も受け取れない空白期間が生じてしまっている。今後、定年延長が図られなければ退職後の不安は増すばかりだ。不安が増せば、定年間近の労働者は無収入状態に備えての預金を余儀なくされてしまう。こうした状況では景気回復など望める訳もなく、魅力ある港湾労働から遠ざかっていると看做されるを得ない。18春闘では65歳までの定年延長を1歩でも2歩でも前進させよう!

この表は日本年金機構が公表している「厚生年金の支給開始年齢」一覧表。支給開始日が段階的に遅らされることから、対象になる人の生年月日によって条件が変化してしまうため、非常にわかりにくい表となっているが、この表に自分の年齢を当てはめて見てほしい。

例えば「う」の段は、2018年度に59歳から61歳になる港湾(仮称)さんが該当する。仮に港湾さんが60歳で定年であれば、厚生年金報酬比例部分の受取開始は63歳であり、老齢基礎年金(国民年金相当部分)の受取開始は65歳であるので、60歳で退職すると3年間は公的年金支給ゼロ、その後2年間も老齢基礎年金部分支給ゼロになる。従って定年・雇用延長がされていないならば港湾さんは給与所得のない公的年金支給ゼロ期間ありであり、港湾さんが空白期間を回避するには現時点で63歳までの定年延長が必要不可欠ということになる。

その他、注意してほしい点としては、男女で5年間の差がある点、老齢基礎年金部分は2018年度時点で65歳までの定年・雇用延長になっていなければ、全員に空白期間が生じるという点。

男女で5年間の差

[※表は2018年4月を起点とした場合]

	男性	女性			
あ	1953年生まれ 2018年で63~65歳	1958年生まれ 2018年で58~60歳		老齢厚生年金 老齢基礎年金	
い	1955年生まれ 2018年で61~63歳	1960年生まれ 2018年で56~58歳		報酬比例部分	老齢厚生年金 老齢基礎年金
う	1957年生まれ 2018年で59~61歳	1962年生まれ 2018年で54~56歳		報酬比例部分	老齢厚生年金 老齢基礎年金
え	1959年生まれ 2018年で57~59歳	1964年生まれ 2018年で52~54歳		報酬比例部分	老齢厚生年金 老齢基礎年金
お	1961年生まれ 2018年で~57歳	1966年生まれ 2018年で50~52歳		報酬比例部分	老齢厚生年金 老齢基礎年金

65歳までの定年延長が必要
年金がもらえない期間 空白期間...

空白期間が生じる
定年延長がなければ完全空白期間
段階的定年延長があっても、老齢基礎年金部分は空白期間が生じている

働き方改革?
過労死ライン残業の合法化は
改悪に決まってるだろ!
絶対許さん!
18春闘頑張ろう!

労働法制の
改悪反対!



第0001号 2018年2月15日発行 全日本港湾労働組合
発行日: 毎月15日(ただし、1月15日号、8月15日号、9月15日号は休刊)

創刊にあたって

全日本港湾労働組合新教宣紙誕生

みなさんこんにちは。全日本港湾労働組合・教宣部です。これまで教宣部では機関紙「港湾労働」を通じて組合員の皆さんに様々な情報を届けて参りましたが、更に親しみやすい教宣物を発行していこうと、既存の「港湾労働」とは別に、写真を中心としたフルカラー版を発行していくこととなりました。当面、A3版両面刷りで試験的に発行していきますが、正式な発行物として定着して行けるよう応援の程宜しくお願いします。また、新しい発行物の愛称につきましては、公募の結果、四国地方香川県支部の山田貴範さん応募の「ブレイクタイム」に決定しました。山田さんおめでとうございませう! どうか「ブレイクタイム」を末永くご愛顧のほど宜しくお願いします。「ブレイクタイム」への投稿はいつでも歓迎いたします。ただし、紙面に限りがありますので、投稿されたい方は必ず地方本部・支部を通してお願いいたします。

ブレイクタイム

笑顔でお迎えします！

シーパレス宴会場スタッフ一同

全港湾の定期大会や中央委員会、労働講座などの際、ホテルシーパレスリゾート（港湾の福利厚生施設：愛知県豊橋市）に大変お世話になっていきます。宴会場スタッフの皆さんが、日頃どのように私たちを迎えているか、中央委員会の開催に合わせ、お話を伺いました。



スタッフ一同笑顔でお迎えしま〜す！

全港湾第39回中央委員会の開催に当たっては、宴会の準備を午前中から開始し、11名のスタッフが万全の態勢で皆さんの到着をお待ちしていたとのこと。顔と名前を覚えられるよう常に心がけており、大人数の宴会も顔見知りが増えると、忙しさより楽しさが増してくること。

しかし、そうは言っても仕事は重労働。宴会後の片付けも2時間ほどかかり、20時に宴会が終了すれば22時頃までかかるとのこと。立ったり座ったりの連続なので、はじめて仕事をする方は3ヶ月くらいは筋肉痛があり、慣れるまではひたすら我慢？とのこと。

また、料理は地元の食材を使うよう心がけており、地産地消を推進しながら料理長が頑張っているとのこと。三河湾のアサリやエビ、地場キャベツ等も使用しているとのこと。現在ないメニューでもリクエストの声が多ければお応えしていきたいとの意気込み。

ここ数年は、新卒の方が連続して採用されており、10代、20代のスタッフも増え活気がでているとのこと。スタッフ一同笑顔でお迎えとのことですので、シーパレスににかけてみてはいかがでしょうか。



ホテルシーパレスリゾート



恒例！大懇親会



窓から豊橋港、三河湾が一望できる



コラ〜ッ！（笑）



豊橋駅近くには吉田城がそびえる



地産地消の豊橋キャベツ

Volunteer

九州

思いやり！協力！ ボランティアで地域貢献！

新年を迎える準備と2017年最後の委員会を12月27日に開催しました。九州では2017年7月に福岡県と大分県を中心とする九州北部豪雨と9月にも台風18号による河川の氾濫による大規模浸水や土石流・がけ崩れなどにより、これまでに経験したことのない災害となり、多くの市民が被害を受けました。その中で、私たちは災害ボランティア活動を行ない九州の復旧復興を願い取り組みを進めてきました。全国の皆さんより暖かいご支援をいただき有難うございました。

関門支部では、ボランティア活動を行なう中いろいろと検討し、日本赤十字社と一緒に「あなたの思いやりは患者さんへの贈り物」をテーマに支部委員総勢40名を対象として献血を行いました。献血での血液は主にガンなどの病気と闘っている患者さんのために使用されます。安全な輸血を行なうために問診と検査をして総合的な判断により献血となりました。初めての方は献血に対してこれを機に興味をもてる様になり、経験者の方は組合員に更に広げて取り組みたいと思える様になりました。今後も継続的に取り組みを進め「思いやり！協力！」を広げていきたいと思います。

(関門支部 山田憲司)

